

アークスグループ 環境への取り組み

平成23年5月22日、支笏洞爺国立公園内の「北海道CGCの森」で約1350本の植樹を行いました。



オイスカ北海道支部、札幌ユネスコ協会の呼びかけで小学生から大学生まで約100名に参加いただきました。

アークスグループでは有料レジ袋の販売代金の全額を「北海道CGC みどりところの基金」^{※①}へ寄付し「北海道CGCの森」^{※②}森づくり事業などの環境保全活動や、社会貢献活動への助成を行っています。

①北海道CGC みどりところの基金とは

北海道CGCグループ加盟企業（株）ラルズ・（株）福原・（株）ふじ など10社を会員として環境保全、環境教育に関することへの助成、及び環境に関する研究機関への助成を目的に平成20年12月に設立されました。

②「北海道CGCの森」森づくり事業とは

北海道CGCの森づくり事業は、石狩森林管理署と事業主体である（株）北海道ジジシーが協定を締結し実施する、「北海道CGCみどりところの基金」の直轄事業です。昭和29年の洞爺丸台風そして平成16年の台風18号により倒木被害のあった千歳川流域の被害地において、針葉樹と広葉樹の植樹と天然更新（自生して次世代の森林が育つこと）の促進を合わせて行い、多様な樹木が枝を広げた、自然林に近い森づくりを目的としています。



（株）ラルズ （株）福原 （株）ふじ （株）道東ラルズ （株）道北ラルズ （株）道南ラルズ （株）東光ストア

うまい!を明日へ!プロジェクト

第5弾

スーパードライ1本につき1円が環境保全などに活用されます。



北海道

*ラムサール条約登録湿地、知床世界自然遺産の保全活動に!

※宮島沼、雨竜沼湿原、サロベツ原野、クッチャロ湖、湊沸湖、ウトナイ湖、釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原、阿寒湖、風蓮湖・春国岱、野付半島・野付湾



アサヒビールは、北海道内で販売した「アサヒスーパードライ」対象商品1本につき1円を「財団法人 北海道環境財団」「財団法人 知床財団」に寄付し、道内12カ所の*ラムサール条約登録湿地、知床世界自然遺産の保全活動にお役立ていただきます。

対象商品 平成23年9月上旬から平成23年10月下旬に製造した「アサヒスーパードライ」缶500ml・缶350ml・大びん・中びん。

www.superdry.jp

第4弾結果報告

平成22年秋に実施した「うまいを明日へ!」プロジェクト第4弾では、1,298万5,943本のご愛飲をいただきました。1本につき1円、合計1,298万5,943円を、「ラムサール条約登録湿地、知床世界自然遺産の保全活動にお役立ていただきます。



① 20歳未満の飲酒は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。ほどよく、楽しく、いとお酒。のんだあとはリサイクル。



アサヒビール株式会社